

年 月 日

(あて先) 東海市消防長

管理権原者又は
防火管理者
氏 名

自衛消防訓練通知書

住 所	東海市		
名 称		用 途	項
実施年月日	年 月 日 ()	時 分 ~	時 分
予 備 日	年 月 日 ()	時 分 ~	時 分
訓練種別	通報・避難・消火・総合・その他 ()		
参加人員	名	担当者名	TEL
消防職員 派遣の要否	要・否	要請車種別	<input type="checkbox"/> 救急車 <input type="checkbox"/> ポンプ車 <input type="checkbox"/> その他 ()
準備資材	<input type="checkbox"/> 消火器 (本) <input type="checkbox"/> 救助袋 (箇所) <input type="checkbox"/> マット (枚) <input type="checkbox"/> その他 ()		
借用資材	<input type="checkbox"/> 水消火器 (本) <input type="checkbox"/> ビデオタイトル () <input type="checkbox"/> その他 ()		
訓練概要			
※受付欄		※経過欄	
		<p>【借用資材がある場合】 紛失、損傷等の場合は、すみやかに現状復帰後お返しいたします。</p> <p>借用者名： _____ 貸与者確認印 (/) 返納者確認印 (/)</p>	

注：訓練概要欄に実施内容が記載しきれない場合には、別紙とすること。

訓練の種別及び消防職員派遣の要否欄に付いては、該当するものを○でかこむ。

※印欄は、記入しないこと。

〇〇〇〇 消防訓練実施要領（例）

〇〇年〇〇月〇〇日 場所：〇〇〇

活動区分	活動内容	指示・放送・通報要領等
① 出火場所の確認	職員は、通常勤務を行う。	
	出火場所で発炎筒をつける。若しくは火災をイメージできる物を置く。	出火場所は、〇階事務室を予定
	感知器で煙を感知する場合は、受信機の火災表示により感知器発報場所を確認する。	
② 現場確認の指示・現場の確認	出火場所へ行き、火災を確認する。	
	「火事だー！」と2回叫び、周囲に火事を周知する。	火災の発生を知らせると共に、通報・初期消火・避難の指示をする。 例：「〇〇〇〇で火災が発生しました。延焼する危険があります。119番通報してください。」
③ 119番通報	119番通報する。 最初に「訓練・訓練」と2回言う。	119番通報 ①火災か、救急か ②所在地 ③建物の名称、付近の目標物 ④状況 ⑤あなたの氏名と電話番号
④ 情報伝達	職員へ情報伝達（自衛消防活動について）をする。	「〇〇〇〇で火災発生、職員は所定の行動をとれ。」
	来客等へ情報伝達（火災発生について）をする。	「ただいま〇〇〇〇で火災が発生しました。職員の指示に従い、落ち着いて避難して下さい。」2回以上繰り返し行う。
⑤ 初期消火	消火班は、消火器により消火活動を行う。（放射体勢で15秒間保持する。）	
	消火器による初期消火失敗を伝達する。	
	屋内消火栓を延長し、消火活動を行う。（放射体勢で30秒間保持する。）	
⑥ 避難誘導員の配置	避難通路に誘導員を配置する。	ハンドマイクや投光器を使用する。
⑦ 避難誘導	非常放送又は職員の避難指示により、周囲の安全確認後、来客等を避難誘導させる。	ヘルメット、防災頭巾等の着用。
	残員確認を行うため、大きな声を出しながら、室内等を巡視する。（確認後報告）	常に大きな声を出し、二次災害に注意する。
⑧ 区画形成	防火戸・防火シャッターを作動させ、区画を形成する。（作動後報告）	
⑨ 自衛消防隊員の避難	職員（自衛消防隊員）は、屋外に避難する。（避難後報告）	
⑩ 消防隊への情報提供	消防隊に火災の状況・避難の状況・自衛消防活動の状況を報告する。	状況報告：出火場所（〇〇〇〇） 避難の状況（全員避難完了） 自衛消防活動状況（消火・避難）

※ 通報訓練を実施する場合は、訓練実施5分ぐらい前に連絡してください。

連絡先（知多広域消防指令センター）：0569-20-1119